

家庭でできる！新型コロナウイルスの消毒について

◆感染経路について

新型コロナウイルスの感染経路は飛沫(ひまつ)感染と接触感染の2つがあります。

○飛沫感染

感染した人のくしゃみや咳、つばなどに含まれるウイルスを他の人がウイルスを口や鼻から吸い込むことにより感染します。

○接触感染

感染した人がくしゃみや咳を押さえた手で触れた場所にウイルスが付着し、他の人がその部分に増えた後、その手で目・鼻・口を触ることにより感染します。

◆消毒液の簡単な作り方

製品の記載濃度を確認し、薄めて使用して下さい。

【家庭用塩素系漂白剤(塩素濃度約5%)で消毒液を作る場合】

用 途	濃 度	希 釈 方 法
ドアノブ・手すり等の手で触れる部分	0.05%	500ml のペットボトル1本の水に塩素系漂白剤を5ml(ペットボトルのキャップ1杯)入れる。
感染者や濃厚接触者が使用したトイレ・洗面所 など	0.1%	500ml のペットボトル1本の水に塩素系漂白剤を10ml(ペットボトルのキャップ2杯)入れる。

※漂白剤の主成分が次亜塩素酸ナトリウムであることを確認してください。

※消毒液を入れた容器には必ず、消毒液である事を分かりやすく記載してください。

※希釈する際は、液体が直接手につかないように手袋などを使用してください。

◆消毒の方法

- ・ペーパータオル等に十分に消毒液を含ませて一方向に拭き取り、自然乾燥させて下さい。(拭く場所が濡れていたり汚れていたりする場合はふき取った後に行ってください。)
- ・使用したペーパータオルはビニール袋に入れ、袋を二重にするなど破れないようにして口をしっかりと結んでください。

※消毒液の噴霧(スプレー)は不完全な消毒やウイルスの舞い上がりの可能性があるため避けてください。

※塩素系漂白剤で消毒する場合、金属は腐食する可能性があるため拭き取った後10分後に水拭きを行ってください。

◆消毒する主な場所

場 所		消 毒 場 所
家庭や職場	部屋	ドアノブ、窓の取っ手、照明のスイッチ、ソファ、椅子、テーブル、電話機、コンピューターのキーボードとマウス、壁、床 など
	トイレ	ドアノブ、照明のスイッチ、ホルダー、便座、ふた、便器流水レバー、汚物入れ など
	風呂、台所 など	水道の蛇口、シャワーヘッド、洗面器、ドアノブ、手すり窓の取っ手、照明スイッチ、浴槽、排水溝、浴室の壁・床 など
職場や集合住宅の共用部分		エレベーターやオートロック等のボタン、出入り口のドアノブ、ハンドル、不特定の人が触れる部分 など

◆注意事項

○家庭用塩素系漂白剤を用いた消毒液を使用する場合

- ・皮膚への刺激が強いため、直接触れないよう、必ずビニールなどの手袋を使用して下さい。また、手指消毒には使用しないでください。
- ・消毒するときは、換気を十分に行ってください。
- ・酸性の強い洗剤と混ぜると有毒なガスが発生しますので注意してください。
- ・消毒液は時間の経過とともに消毒効果が落ちます。必要な量だけ作り、その都度使い切りましょう。

○消毒用アルコールを使用する場合

- ・引火しやすい液体のため、火気の近くでは使用しないでください
 - ・室内で容器などに詰め替えるときは、しっかり換気をしましょう。
 - ・直射日光が当たる場所や高温となる場所は避けましょう。
 - ・密閉した室内で大量に噴霧しないようにしましょう。
- ※霧状になると、引火する危険性が増します。

参考

厚生労働省ホームページより

- ・新型コロナウイルス対策 身の回りを清潔にしましょう <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000614437.pdf>
- ・新型コロナウイルスの感染症が疑われる人がいる場合の家庭内での注意事項(日本環境感染学会とりまとめ)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage_00009.html

天童市健康福祉部健康課
電話 652-0884